



防災ラジオステーション宣言！

ラジオ大阪は、2021年1月15日に“防災ラジオステーション宣言”を行いました。
防災・減災の情報発信や呼び掛けなど、さまざまな取り組みに力を注ぎ、リスナーの方々と共に防災意識を高めることを目指します。

防災特別企画「明日のために、今できること。」

2018年

8月31日 防災の日(女性・母親目線から備えを考える、ママ防災座談会 ほか)

2019年

1月17日 震災の経験を生かす(大人と子どもの防災教室、大学生の取り組み ほか)

3月11日 高校生との防災

6月18日 大阪北部地震から1年(被災体験と備え ほか)

6月18日 ラジオ大阪 ～大阪城公園(広域避難所案内板、浸水どうぶつものさし ほか)

8月30日 防災の日(地震への備え、緊急時の水の確保 ほか)

2020年

9月 1日 防災の日(ペットの防災、コロナ禍の備え、ハザードマップの活用 ほか)

2021年

1月15日 防災ラジオステーション宣言(ラジオ大阪 防災ラジオステーション宣言、防災グッズ ほか)

3月11日 東日本大震災から10年(災害とメディア、津波からの避難、釜石市の旅館女将の被災体験 ほか)

6月18日 職場での備え(防災食、帰宅困難とハザードマップ 貝塚市の取り組み、蓄電システム ほか)

9月 1日 気象災害への備え(気象予報士による気象災害の解説、在住外国人の防災対策と問題点 ほか)

2022年

1月17日 阪神・淡路大震災から27年(帰宅困難、街の防災施設・防災を学べる施設、心のケア ほか)

1月17日 梅田～JR甲子園口(神崎大橋左岸防潮鉄扉、淀川大橋、たすかんねん ほか)

3月11日 レジャーと備え(レジャーでの備えと被災時の対応、レジャー施設の被災体験ととりくみ ほか)

6月17日 大阪北部地震から4年(備えと自助、吸水シート、パーソナリティーの被災体験、防災川柳 ほか)

6月17日 京橋駅～千林商店街(千林商店街大型消火器、朝日地蔵尊)

9月 1日 “水都”の水害の備え(水門が担う水防、ぼうさいこくたい2022、避難所のトイレ問題 ほか)

9月 1日 難波～住之江区役所(安政大津波の碑、木津川水門、水防碑 ほか)

2023年

1月17日 つながる、伝える(阪神淡路大震災 1.17のつどい、家具固定、語り部インタビュー ほか)

1月17日 鶴橋駅～河内小阪駅(密集住宅市街地重点対策地区、八王子神社 ほか)

3月10日 東日本大震災から12年(災害伝承碑をめぐるイベント、自治体・施設・政府の復興の取り組み ほか)

3月10日 弁天町～天保山バイエリアー帯(弁天東公園、波除山跡、築港南公園風水害記念碑 ほか)

6月19日 大阪府北部地震から学ぶ(大阪防災プロジェクト、公共施設の被災体験と取り組み ほか)

6月19日 寝屋川市～高槻市 安満遺跡公園(枚方市光善寺、八幡市立「松花堂庭園・美術館」 ほか)

9月 1日 関東大震災から100年(あべの防災イベント、方丈記から学ぶ、防災訓練、大規模震災への備え ほか)

2024年

1月17日 被害を繰り返さないために～震災・風水害の歴史を未来に生かす(自治体・地域の防災、災害時の復旧活動について)

1月17日 西淀川区役所～神崎川～佃地区一帯(佃ふれあい公園 防災船着場、千船駅前防災ビル ほか)

3月11日 東日本大震災の教訓と被災地の復興について(福島県の復興・風評被害対策・観光特産品情報特集、心の備えについて)

6月18日 能登半島地震の復興を応援(原田年晴アナウンサーの石川県現地取材報告、泉ゆうこの生中継「北陸三県応援企画」 ほか)

8月30日 台風・豪雨の災害に備える(災害対応自販機について、万博会場の防災対策、「津波・高潮ステーション」
「毛馬排水機場」取材、大阪市港区の土地区画整理について ほか)

アナウンサーによる防災ウォーク

防災目線で街を歩く「防災ウォーク」は、電車や車などが使えない状況を想定して自身の足で歩きながら、災害発生時に危険な場所や頼れる場所をチェックします。

また、災害の歴史を伝える遺構を訪ね、その土地が持つ災害リスクに目を向けます。

2023年1月から2024年1月までは、「日本防災士会大阪府支部大阪市ブロック」の協力を得て、各地で活動する防災士から情報や解説をいただいています。



7 ※ 防災ウォーク

2025年

1月17日(金) 阪神・淡路大震災から30年

阪神淡路大震災後の復興活動や外国人観光客の防災など、様々な防災・減災の情報を4つのワイド番組でお伝えしました。

「藤川貴央のニュースでござる」

時間:7:00～9:00

出演:藤川貴央(ラジオ大阪アナウンサー)



タイホ防災・山下泰助代表取締役役に創業62年の総合防災企業の取り組みについてお伺いしました。

「ハッピー・プラス」

時間:9:00～11:00

出演:若宮ティ子



人と防災未来センター、特別研究調査員の坂本誠人さんに、阪神淡路大震災後の復興活動や、能登半島地震の被災地・支援活動について語っていただきました。

「金曜お昼は、めっちゃ方正!」

時間:11:00～14:00

出演:月亭方正、露の紫



奈良大学 社会学部 総合社会学科の倉光徹先生と2年生の学生みなさんに災害時における外国人観光客の誘導方法や対応などについて教えていただきました。

「原田年晴かぶりつきフライデー!」

時間:14:00～16:55

出演:原田年晴(ラジオ大阪アナウンサー)、田中あいみ



神戸新聞開地・喜楽館で行われている「笑ってがんばろう!震災復興ウィーク」について、支配人であるABCの伊藤史隆アナウンサーにインタビューしました。

3月11日(火) 東北復興の現状と今伝えたいこと

東日本大震災から14年。東北復興の現状とともに、今だからこそ伝えたい現地の魅力、観光、食、文化についてもお伝えしました。

「藤川貴央のニュースでござる」

時間:7:00～9:00

出演:藤川貴央(ラジオ大阪アナウンサー)



元・産経新聞編集長の安本寿久さんに防災ツーリズムについて語っていただきました。

「ハッピー・プラス」

時間:9:00～11:00

出演:南かおり



「人と未来防災センター」研究員の松村圭悟さんに大規模災害・南海トラフ地震への対策についてお話を伺いました。

「和田麻実子のみみよりだんご」

時間:11:00～14:00

出演:和田麻実子(ラジオ大阪アナウンサー)、カベポスター



震災直後の福島県に移住した、よしもと住みます芸人・べんぎんナッツのお2人にリモートで登場いただきました。

「笑福亭松喬の笑えば大吉」

時間:14:00～16:55

出演:笑福亭松喬



原田アナウンサーがスタジオに入り、福島県の特産品「川俣シャモ」を紹介しました。生産者の方にも電話を繋ぎ、魅力をたっぷり伝えていただきました。

リスナーメッセージ

- ・ 時が経つと忘れがちになる防災意識ですが、ラジオ大阪を聴くようになって定期的に注意喚起してくれるので、日ごろ気にかかる習慣ができました。
- ・ ラジオ大阪が防災スペシャルをしてくれるおかげで、防災の備えを見直す機会も多くなりました。

防災士のアナウンサーから「明日のために、今できること。」

和田麻実子アナウンサー、藤川貴央アナウンサーは、防災士資格を取得し、より有益な情報をリスナーの方々へお伝えするために、防災士としての視点やそれぞれの経験から、高い意識を持って日々の取材や放送にあたっています。



ラジオ大阪アナウンサー
和田 麻実子

なるべく楽しく防災を!

大阪府北部地震を当時3歳の息子が怖がる様子を目の当たりにして、防災士の資格を取得しました。我が家の防災は、「なるべく日頃から!なるべく楽しく!」がテーマです。私としては、防災企画や番組もこのテーマと同じ気持ちです。リスナーの皆さんが、なるべく日頃から・なるべく楽しく防災ができるような情報を伝えたいと考えています。



ラジオ大阪アナウンサー
藤川 貴央

あすを生きるあなたのために

南海トラフ地震の発生確率は30年以内に80%以上とされています。この日本に暮らす以上、地震や津波による経済的な被害は免れないかもしれません。しかし、日々の備えを怠らず素早く避難し助け合うことができれば、亡くなる人をゼロにできるはずです。「あすを生きるあなたのため」の情報をお届けできるよう私たちも努力を続けます。

他のラジオ局と協力した活動

AMラジオ災害問題協議会は、ラジオ大阪、NHK大阪放送局、MBSラジオ、ABCラジオ、KBS京都ラジオ、ラジオ関西、和歌山放送の7つのラジオ局が共同で毎年1月17日前後に“災害とラジオ”を考える特別番組「いのちのラジオ」の制作・放送やイベントなどを実施しています。

ラジオ大阪、ラジオ関西、和歌山放送、KBS京都ラジオのAMラジオ4局は、災害時に臨時に他局の災害情報の放送をする「相互援助協定」を締結しています。毎年1月17日前後には、4局のスタジオを生放送でつないで「あなたのそばにいつもラジオを」という各地の防災情報をお伝えしています。

これまでの取り組みなどはHPをご覧ください。 [ホームページはこちら](#)

